



interview Vol.6

東京土木施工管理技士会

優良技術者インタビュー

土木技術者の日頃の研究・研鑽を称え、技術者表彰規程に基づき、優良技術者の表彰を毎年行っています。今年度受賞された渡辺さんに工事のポイントや日々の業務について伺いました。



松鶴建設株式会社
渡辺 健太郎さん
(白鷺橋下部工事その5(30五一環3支2
白鷺橋) 監理技術者)



受賞 白鷺橋下部工事その5(30五一環3支2白鷺橋)

主な工事内容

江東区豊洲地区に架かる白鷺橋の架け替え およびそれに伴う橋の拡幅工事

限られた施工ヤードのなかで安全を確保しつつ、多様な工種を施工する準備計画を作成。支障物が多く見られたが、代替方法を検討・提案のうえ、近隣住民からの様々な意見に対して丁寧に、誠意を持って対応した。また、継続されている事業をより良くする為に、発注者と一丸となって検討を重ねたことが評価され、前期工事から連続での優良表彰受賞となった。



長所を活かせる建設業界 「チームで動く、ものづくり」 にも魅せられて



学生時代、物理が好きだったこともあり、大学で土木を専攻しました。それがこの業界との出会いです。陸上競技で培った体力にも自信があったので、体を動かしながら働ける環境も自分にあっていないのではないかと感じていました。また、現場というフィールドで、職人さんから技術者までチーム一丸となってものづくりをするという部分にも魅力を感じ、入職することを決意しました。橋をつくりたい、トンネルを掘りたいなど明確につくりたいものがあつたわけではないのですが、社会生活を支えるものづくりに携われる喜びは大きかったですね。

リセットではなく、フレッシュに 新たな気持ちで、現場に挑む



入職してからこれまでに、さまざまな現場を経験して

きました。工事の規模もその都度異なりますが、現場が変われば工種も変わります。土木の特徴でもあります。そのたびに1から勉強しなければならないので、そこは大変ですね。ただ、それをリセットではなく、頭をフレッシュな状態にできるチャンスと捉えれば、新鮮な気持ちで工事に挑むことができるのでとても楽しいです。1つのことを極めるのも良いですが、性格的にもいろいろなことにチャレンジしたいほうなので、いい意味で気分転換にもなっています。



きめ細かで、丁寧な対応 工事に対するイメージを変えたい



今回の工事は、交通量の増加した平久運河に架かる白鷺橋を架け替え、車線の増加と歩道幅の確保を図るものです。当社はI期工事のその5工事を前期から引き続き担当しています。現場はマンションなどが近接していて、期間も10年以上に渡っているため、住民の方にはかなりのご負担をかけてしまっている現状があります。そのため、当初は工事に対してネガティブなイメージを持たれる方も多く、なかなかご理解を得られないこともありました。そのなかで、できる限り関係するすべての人の要望に応えられるよう、コミュニケーションをこまめに取りながら、掲示する情報やその種類をアップデートしていきました。他にも工事に対して少しでもいいイメージをもっていただけるよう工夫をしましたが、目に見えるものから変えていったことも良かったのかなと思います。豊洲という場所もあったので、防音性が高く、見た目が良い仮囲いを使用して景観に配慮することにしたんです。苦情や要望が出る前に、先手を打つ形で実施したので、「つかみ」はうまくいったかなと思っています(笑)。やはり最初の印象がいいとその後関係性を築いていく際にもスムーズに物事が運ぶので、非常に助かりましたね。現場にあった計画をして、工夫をしていくのが楽しいので、それがちょっとした息抜きになっている面もあるのかなと思います。

いい仕事は、いいプライベートから 日々の生活で新たな発見も



仕事を頑張るためにも、プライベートの時間は大事にしています。休日には家族と旅行やキャンプに行くことが多いですね。また、妻との何気ない会話のなかで得られる新たな発見もあるので、それを工事の説明や近隣住民の方とのコミュニケーションに活用しています。この世界に長くいると当たり前になってしまって気づかないことも、一般的な目線から見てくれることで、疑問やギャップを解消することができるので、とてもありがたいです。



全ての人が幸せになる工事を目指して 頑張りが見えるからこそその世界



「つくる」だけではなく、ステークホルダーの方にいかに満足していただけるかをテーマに、日々試行錯誤しながら頑張っています。もちろん、安全は大前提としたうえで、それにプラスして便利になったという声や、工事への評価をいただけるのは非常にうれしいです。また、この業界でしか味わうことのできない、竣工したときのホッとした気持ちと達成感を感じるたびに、いい仕事につくことができたなと幸せな気持ちになりますね。今後は、仲間との頑張りが目に見えて実感でき、評価され、後世に残るこの魅力を若いみなさんにも伝えていきたいと考えています。最近は労働時間の問題など負の側面がクローズアップされ、入職希望者も減少していますが、ICT施工やDXなどの分野では若手の力を必要としていることも事実です。胸を張って魅力ある業界と言えるよう微力ながら頑張っていきたいと思います。

